# 病院新築移転から2年 さらに"革新"を目指す

## 医療法人 協愛会　阿知須共立病院

## 三好　正規 理事長・病院長

【みよし・まさのり】山口県立宇部高校卒業　1968 岡山大学医学部卒業　同第三内科　1979 医療法人協愛会　阿知須共立病院副院長　1980 同病院長　社会福祉法人正清会特別養護老人ホーム白松苑理事長　1981-1984 岡山大学医学部非常勤講師　2002 医療法人協愛会　阿知須共立病院理事長兼任

### ◎新築移転から2年目を迎えて

当法人は、1958（昭和33）年に旧阿知須町で創業して以来、地域の方々に支えられて60年近くの歴史を刻んできました。2015年2月、老朽化、耐震化のため、山口市阿知須（旧病院の近く）に新築移転して、今年で2年目になります。

新病院運営にあたっては、全職員が一丸となって取り組んでくれたおかげで、順調な滑り出しだったと感謝しています。

この2年を振り返って、まず思うことは、当院を取り巻く自然環境が予想以上に素晴らしいということです。四季折々の景観を見せてくれ、入院されていた、ある患者さんのご遺族からは、患者さんが「ここからの眺めはまるで天国のようだ」と言ってお亡くなりになったと感謝されたこともあるほどです。

きらりん＆まもるちゃん
（同院イメージキャラクター）

自然が与えてくれた、この「癒やしの空間」で、地域の方々に安心・安全な医療を提供し、入院患者さんには穏やかな気持ちで療養していただきたい。このような思いとともに病院を運営しています。

### ◎子育て支援

医療現場で女性の果たす役割は非常に大きいと思います。とりわけ、女性特有の「優しさ」は、患者さんにとって何よりの癒やしになるものです。

当院では職員全員が仕事と子育てを両立させることができ、女性の個性と能力を十分に発揮できる風土をつくるため、2015年から3年間の「行動計画」を策定しました。育児休業取得を促進し、働きやすい職場環境を追求するために、管理職（課長級以上）に占める女性の割合を50％以上にすることを目標にしました。実現に向けて、部下育成研修、女性管理職による一般職向け研修を実施しているところです。

こうした業績が評価され、昨年6月、山口県から「やまぐち女性の活躍推進事業者」の登録証をいただき、同7月には、「子育てサポート企業（くるみん認定3ツ星）」の認定をいただきました。3度の認定は、県内で当院だけです。

### ◎「食」への高い意識

当院の栄養科では、地産地消をモットーに、地元で採れた食材を使った料理を提供しています。患者さんからの評判も良く、栄養改善優良特定給食施設として「山口県知事表彰」、優良特定給食施設として「厚生労働大臣賞」の受賞歴もあります。

嚥下（えんげ）食についても、2013年から開催されている「嚥下食メニューコンテスト（主催＝一般社団法人日本医療福祉セントラルキッチン協会・嚥下食ドットコム）」に応募し、過去3回入賞。今年の応募作品「HAPPY NEW 雑煮」は最優秀グランプリを獲得しました。

この受賞は、当院のNST（栄養サポートチーム）と栄養科スタッフの長年の努力と工夫によって成し得たもので、心から敬意を表したいと思います。

これらのメニューのレシピは、当院のホームページで公開しています。病院、施設、家庭で安心して食べていただけるスタンダードメニューとして全国に広がってほしいですね。

### ◎中期経営計画「NEXT50 "革新"」

今年4月、病院運営の中期経営計画「NEXT50"革新"」をスタートさせました。これは、新病院開設に合わせて刷新した法人理念「"地域の安心支援拠点"安心と信頼を提供します」「皆さまの健康長寿、その人らしい生活を支えます」「四者満足（希望と満足を実感できる法人でありつづけます）」の三つの実現に向けて具体的な道筋を示したものです。

少子高齢化、医療・介護・福祉を取り巻く環境の大きな変化、そして社会保障財源の逼迫（ひっぱく）状況を背景に、①機能の革新②運営の革新③満足の革新を施策骨子としました。

「機能の革新」としては、さまざまな施設認定取得に取り組んできました。同4月には、日本静脈経腸栄養学会から「NST稼働施設」に認定され、また、同12月には日本糖尿病学会の認定教育施設Ⅱとなり、これまでに合計12の施設認定を取得しています。

同11月、在宅や介護施設への復帰支援に向けた医療・支援を目的に、4階医療療養病棟の45床のうち20床を地域包括ケア病棟に変更し、5年に一度の日本医療機能評価機構の更新審査（3rdG：Ver.1）も受審しました。

今後はますます、医療・予防・介護の質の向上を図り、病院機能を進化させていきたいと考えています。

「運営の革新」としては地域連携の強化があります。その先駆けとして、2015年、県から受託した「在宅医療提供体制構築事業」の一環で、「きらら在宅医療協議会」を発足、年2回ほど開催しています。

在宅医療や地域医療の課題をテーマに、13のクリニックの院長および当院の私を含む15人の医師・職員計28人が意見交換することで、連携の強化、業務改善を図るものです。

さらに、「満足の革新」のためには、医療を受ける満足は言うまでもなく、患者さんの待ち時間を短縮し、診療内容を充実させ、職員の接遇を改善すること、職員のためには、労働環境・処遇の改善を進めていきたいと思います。

「機能、運営、満足の三つの"革新"を実現し、選ばれる病院になろう！」をスローガンに、現状維持ではなく、発想の転換・飛躍を図っていきたいと考えています。

**【阿知須共立病院が取得した12の施設認定】**

- 日本医療機能評価機構認定病院
- 人間ドック健診施設機能評価認定病院
- 日本外科学会外科専門医制度関連施設
- 日本がん治療認定医機構認定研修関連施設
- 日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設
- 日本腎臓学会認定研修施設
- 日本糖尿病学会認定教育施設Ⅱ
- 日本認知症学会認定教育施設
- 日本透析医学会認定教育関連施設
- 人間ドック健診専門医研修施設
- 日本脳ドック学会認定施設
- 日本静脈経腸栄養学会認定NST稼働施設

医療法人　協愛会
阿知須共立病院
山口市阿知須４８４１－１
☎０８３６－６５－２２００（代表）
http://www.kyoai.or.jp

病院周辺の春の景観

嚥下食メニューコンテスト2016
最優秀グランプリ受賞おめでとうございます

祝 嚥下食グランプリ最優秀賞受賞
社会福祉法人　正清会
〒山口県山口市阿知須5044番地1
TEL 0836-65-2250 FAX 0836-65-4645
URL://WWW.h2.dion.ne.jp/^hakusyo
特別養護老人ホーム白松苑、特別養護老人ホーム賀宝の里白松苑
白松苑・賀宝の里デイサービスセンター、グループホーム白松苑
多機能ホーム遠波の里白松苑、白松苑居宅介護支援事業所

嚥下食グランプリ最優秀賞受賞おめでとうございます
Frontier
宇部フロンティア大学
宇部フロンティア大学短期大学部
〒755-0805　山口県宇部市文京台2-1-1
TEL 0836-38-0511　FAX 0836-38-0600
http://www.frontier-u.jp/

# 嚥下食コンテストで全国1位

## ―阿知須共立病院―

### 高齢患者も安心して食べられる雑煮

医療法人協愛会阿知須共立病院（山口市）栄養科の三人が考案した「HAPPY NEW雑煮」が、第四回「嚥下（えんげ）食メニューコンテスト2016」で最優秀グランプリを獲得した。同コンテストは、一般社団法人日本医療福祉セントラルキッチン協会、嚥下食ドットコムが主催。全国から107品が出品された。

HAPPY NEW雑煮に入る"もち"は、通常のものに比べて粘り気が少なく、舌でつぶせる固さ。ふわふわとした食感のかまぼこ、ニンジンやカブのペーストを固め、梅やイチョウをかたどったゼリーも特徴的。味、食感、見た目の美しさ、栄養面の充実度で高い評価を受けた。

「おもちが食べたい」という高齢患者の声に応えようと、同院栄養科の久冨好美さん、河野妙子さん、片山さつきさんの三人が考案。医師、看護師、介護士、言語聴覚士、管理栄養士と共同で開発した。2011年の正月から入院患者に提供している。

同コンテストでこれまでに二度の入賞経験がある同院の栄養科では、「安全でおいしい食事」を目指して、地元食材を使った四季折々の郷土料理を提供してきた。栄養科長の片山さんは「このレシピが全国に広まって、たくさんの方のお役に立つことを願っています」と話した。このレシピは、同院のホームページで公開している。

http://www.kyoai.or.jp/deli

（左から）三好正規理事長・病院長、栄養科の久冨好美さん、河野妙子さん、片山さつきさん